

令和2年度
第2回 新潟市北区郷土博物館協議会

2021年1月5日(火)
～5月16日(日)

昭和の暮らし展
昔の子どもたちの日々

入館無料

体験コーナー
(開館時間中いつでも)
ひみつ基地で遊ぼう
天びん棒を担いでみよう

展示の説明
4/10(土)・4/24(土)
各日とも午後1:30～

開館時間：午前9時～午後5時
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は開館)、
1/12(木)、2/12(金)、2/24(木)、
4/30(金)、5/6(木)

主催 / 新潟市北区郷土博物館

令和3年3月16日
新潟市北区郷土博物館

目 次

○令和2年度 後期事業報告（令和2年10月22日～令和3年2月28日）	
1 展示事業（常設展示・企画展及び関連事業）	2
2 教育普及事業（講演会・講座・教室・講師派遣・主なレファレンス等）	3
3 ふるさと学習への対応	5
4 市民ガイド（常設展示ボランティアガイド）の活動と研修	7
5 博物館実習等の受け入れ	7
6 資料（指定文化財を含む）の保管・整理	8
7 所蔵資料の貸出と写真等の使用の許可の記録	9
8 北区の文化財（指定文化財ほか）の調査整理・公開活用・保護	9
9 特色ある区づくり事業「木崎村小作争議100周年事業」	10
○令和2年度入館状況、月別入館者数調べ（本館のみ）	11
○令和3年度 事業計画	13

注：この協議会資料で「入館者数」とあるのは、その期間中の入館者数です。特定の企画展関連事業などに参加した人数は「参加者数」として記載しました。

新潟市北区郷土博物館 令和2年度 後期事業報告

(令和2年10月22日～令和3年2月28日)

1 展示事業

(1) 常設展示

「阿賀北の大地と人々の暮らし」(考古・歴史・民俗・芸術(書))

(2) 企画展及び関連事業

① 美術にみる 型とシンボル展—図像の伝統と現代—

伝統的なシンボル(象徴)を用いた図像(虎図、達磨図等)や「型」による造形(ひな人形、天神人形等)と対照しつつ、新潟出身の気鋭の作家である北條佐江子、長沢明、ワタナベメイの絵画作品や、高橋清の彫刻作品(当館所蔵)にみる、現代美術の記号的な表現を紹介した。

- ・会 期 11/14(土)～12/13(日)
- ・入館者数 1,015人
- ・会 場 ホール、集会室
- ・展示点数 20点(平面15点、立体5点)
- ・出品作家 味方海山、森華江、鈴木香雲、高橋清、北條佐江子、長沢明、ワタナベメイ
- ・展示構成

伝統的なシンボルと新しい表現

宇宙と信仰

肖像

- ・ポスター A2・カラー
- ・チラシ A4・オモテ面カラー、裏面モノクロ
- ・リーフレット A4・8頁・カラー



作品鑑賞会

○作品鑑賞会

実施日・参加者数・講師

11/22(日)・28人	12/13(日)・6人	神田直子
11/29(日)・4人	12/6(日)・4人	齋藤加奈



ポスター

② 常設展拡大企画 昭和のくらし展 昔の子どもたちの日々

常設展示の一つのテーマを掘り下げて展示する企画展。小学校3年生社会科「かわる道具とくらし」の授業内容とも連携させることができる企画として、平成28(2016)年度より開催。シリーズ5回目のテーマは「昔の子どもたちの日々」。学校で使われていた教科書や備品、手作りの遊び道具などのほか、家の“働き手”として子どもたちも使った道具を展示し、生活の苦労の中にあつた数々の工夫や楽しさを紹介。

- ・会期 R3. 1/5(火)～5/16(日)(予定)
- ・入館者数 1,133人(2/28現在)
- ・会場 ホール
- ・展示点数 99点(内訳 民俗資料67点(参考資料2点含む)、写真27点、イラスト5点)

・展示構成

まなぶ(学校でまなぶ・家でまなぶ)

はたらく

あそぶ

体験コーナー(会期中随時)

○ひみつ基地で遊ぼう(昔の遊び)

○天びん棒を担いでみよう

- ・ポスター/チラシ A2・カラー/A4片面カラー
- ・リーフレット A4・4頁・モノクロ



ポスター・チラシ

2 教育普及事業(講演会・講座・教室・講師派遣等)

(1) 江南区郷土資料館ボランティア向け研修への協力(他館等事業への協力)

北区の勤皇の志士(遠藤七郎(北辰隊)と曾我簡堂(岡方組正気隊))についての説明、資料紹介であったため、当館市民ガイドの研修も併せて行った。内容は7頁を参照。

- ・主催 新潟市江南区郷土資料館
- ・期日 10/30(金)
- ・講師 曾部珠世
- ・参加者数 19人
(うち4人は当館市民ガイド)
- ・会場 当館



研修の風景

(2) 第30回 博物館まつり

11月3日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(3) 講演会『越後輿地全図』で見る福島潟の開発

～日本で唯一無二の「国絵図」『越後輿地全図』とその系譜～

江戸後期に地理学者 草間文績等によって作られた本図の特徴と、福島潟の新田開発の経過などについて講演。申込多数であったため、2日間開催した。

- ・主催 新潟市北区郷土博物館
- ・期日と参加者数 11/7 (土) 30人
11/8 (日) 28人
- ・講師 亀井功氏 (巻郷土資料館友の会会員)
- ・会場 当館



講師所蔵の絵図を広げ解説

(4) 「北区のお宝マップ」(4版)の改訂・校正

2008年3月に当館と区民有志で作成したマップを北区のPRに活用するため、改訂版を作成。年を経て古くなった情報・写真を改め、新たに当館が区内57箇所に設置している文化財等説明板の位置情報を追加した。観光振興に使用するため、北区観光誘客推進協議会が増刷した。

- ・作業時期 12月～R3.2月
- ・担当 木村隆行、曾部珠世

(5) 講座「世界の美術館—コレクションのお話—」(他館等の事業での講演)

- ・主催 とよさか中高年教養大学
- ・期日 R3.2/13 (土)
- ・講師 神田直子 (講師派遣)
- ・参加者数 40人
- ・会場 新潟市葛塚コミュニティセンター

(6) レファレンス (通年)

- ・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、歴史資料や郷土史関連図書の閲覧対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力

(7) 刊行物の販売 (通年)

当館の有償刊行物のリストを、表紙イメージ入りでホームページに掲載

3 ふるさと学習への対応

(1) 学校教育の一環としての利用

小学3年生の「かわる道具とくらし」、小学4年生の「福島潟の干拓の歴史」など、学校教育の一環としての博物館利用に対応している。

平成27(2015)年度からは「阿賀北の大地と人々のくらし」をテーマとした常設展示室を中心に、さらに、平成28(2016)年度からは企画展「昭和のくらし展」も含めた学習の場を、市民ガイドと協力しながら提供している。

月 日	団体名と人数 (児童+引率)	場所	講師・担当
11/18 11/20	新潟市立葛塚小学校4年生 計123人 (福島潟の干拓の歴史) (1日2クラス) 60人 (1日2クラス) 63人	常設展示室	曾部珠世(両日) 市民ガイド1人 市民ガイド2人
12/ 8 12/10	新潟市立葛塚東小学校4年生 計125人 (福島潟の干拓の歴史) (1日2クラス) 62人 (1日2クラス) 63人	常設展示室	曾部珠世(両日) 市民ガイド1人 市民ガイド2人
12/10	新潟市立木崎小学校 計78人 (出前授業「木崎地区ってどんなところ?」)	新潟市立木崎小学校	木村隆行
R3. 1/19 1/21 1/22	新潟市立葛塚東小学校3年生 計129人 (かわる道具とくらし) (1日2クラス) 65人 (1日1クラス) 32人 (1日1クラス) 32人	常設展示室+ホール「昭和のくらし展 昔の子どもたちの日々」	(全日) 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈 市民ガイド2人 市民ガイド2人 市民ガイド2人
1/20 1/22	新潟市立葛塚小学校3年生 計98人 (かわる道具とくらし) (1日1クラス) 33人 (1日2クラス) 65人	常設展示室+ホール「昭和のくらし展 昔の子どもたちの日々」	(両日) 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈 市民ガイド2人 市民ガイド3人

1/27 1/28 1/29	新潟市立木崎小学校3年生 計 84人 (かわる道具とくらし) (1日1クラス) 28人 (1日1クラス) 27人 (1日1クラス) 29人	常設展示室+ ホール「昭和 のくらし展 昔 の子どもたち の日々」	(全日) 木村隆行、曾部珠世、 齋藤加奈 市民ガイド3人 市民ガイド2人 市民ガイド3人
2/ 9	新潟市立岡方第一小学校3年生 計17人 (かわる道具とくらし)	常設展示室+ ホール「昭和 のくらし展 昔 の子どもたち の日々」	曾部珠世、齋藤加奈 市民ガイド1人



葛塚東小学校4年生(福島潟の干拓の歴史)



木崎小学校3年生(天秤棒で水運びを体験)



葛塚小学校3年生(昭和のくらし展を見学)



葛塚東小学校3年生(昭和のくらし展を見学)

(2) 一般の地域学習の場としての利用

① 郷土史を学ぶ講演「生活を支えてきた葛塚市場のあゆみ 遠藤七郎左衛門」

- ・期 日 11/5 (木)
- ・講 師 曾部珠世
- ・参加者数 33人(郷土・新潟を元気にする会)
- ・会 場 当館

4 市民ガイド（常設展示ボランティアガイド）の活動と研修

(1) 活動実績

個人や団体の見学者に対し、常設展示を中心としたガイドを行うもの。後期は新型コロナウイルスによるキャンセルもあり、一般の団体はなかった。

- ・個人見学対応 2回（見学者 4人、市民ガイド延べ 2人）
- ・学校見学対応（再掲） 13回（見学者576人、市民ガイド延べ26人）

(2) 市民ガイド研修

市民ガイドのスキルアップと情報の共有を図る目的で行う。

①常設展示「北区の明治維新」関連研修（他館ボランティアとの合同研修）

江南区郷土資料館ボランティアガイド研修として、北区の勤皇の志士 遠藤七郎（北辰隊）や曾我簡堂（岡方組正気隊）に関する歴史資料、書画作品等の展示解説を行うのに合わせ、市民ガイドへ参加を呼びかけ、研修を行った。

- ・実施日 10/30（金）
- ・研修場所 当館
- ・参加者数 市民ガイド4人
- ・担当 曾部珠世

②当館企画展関連研修と情報交換

「美術にみる 型とシンボル展」での研修（担当 神田）と、コロナ禍におけるガイド方法についての意見交換（担当 曾部、齋藤）、常設展示「水のめぐみ」コーナー資料の展示順変更にかかる報告（担当 曾部）を行った。

- ・実施日 11/14（土）
- ・研修場所 北区郷土博物館
- ・参加者数 市民ガイド3人
- ・担当 神田直子、曾部珠世、齋藤加奈

③ガイド実践研修

小学校のふるさと学習での常設展示の説明や昭和の暮らし展の説明に対応するための、「予習・実践・振り返り」等の実践的な一連の研修を行った。

- ・実施日 R3. 1/17・19～22・27～29、2/9 ※太字は予習
- ・研修場所 当館
- ・参加者数 市民ガイド3人
- ・担当 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈

5 博物館実習生等の受け入れ

後期はなかった。

6 資料（指定文化財を含む）の保管・整理

(1) くん蒸処理の記録

- ・ 収蔵資料くん蒸処理 R3. 1/18～1/22
令和元（2019）年度「昭和のくらし展」で展示した民俗資料、一般公開を中止した横井の丘ふるさと資料館の民俗資料、新収蔵資料をくん蒸し、郷土資料収蔵庫に収蔵作業中。
- ・ 防虫防菌処理 郷土資料収蔵庫 R3. 1/20

(2) 収蔵資料等の整理（外部依頼）作業の記録

① 収蔵歴史資料の目録点検と入力（杉本耕一氏へ依頼）

- ・ 資料名 市指定文化財「内沼・佐藤家文書」
- ・ 作業日数 6日（10月～R3. 1月）

② 収蔵民具台帳の整理作業

- ・ 作業日数 4日（10月）

③ 新収蔵歴史資料の清掃・目録作成作業（杉本耕一氏、河合清氏へ依頼）

- ・ 資料名 濁川・渡邊家文書
（濁川の農家から江戸時代～昭和20年代の古文書が寄贈された、江戸時代の濁川新田・濁川興野の検地帳、年貢関係書類、当該地域の絵図、明治時代の土地の境界裁判記録、近代以降の渡邊家関係資料等約350点（親番号））
- ・ 作業日数 延べ11日（2月）

7 所蔵資料の貸出と写真等の使用の許可の記録

(個人への貸出等は除く)

許可日	資料名	目的	貸出・許可先
11/19	山口賢俊調査ノート 5点 (NO. 14 NO. 24 NO. 34 NO. 53 NO. 58) 山口賢俊資料綴6 1点	企画展「開館20周年記念特別公開」での展示	新潟県立歴史博物館
R.3 1/20	木崎村小作争議関係写真 1点 (大正15年6月15日 無産農民学校協会発会式で争議団本部に集まった人々)	中学校社会科映像教材 (映像データベース、ビデオソフト等)への掲載	東京書籍株式会社
1/20	山口賢俊調査ノート等(企画展「開館20周年記念特別公開」で貸出した資料)の写真	令和2年度新潟県民具学会研究会のスライド資料として貸出先が撮影した写真を使用	新潟県立歴史博物館
2/14	月岡貞夫氏関係写真 2点 (「豊来館」「豊栄映画劇場」)	「NHKそして「みんなのうた」は生まれた(北風小僧の寒太郎)」への使用	(株)ワン・オーガスト

8 北区の文化財(指定文化財ほか)の調査整理・公開活用・保護

(1) 調査整理

① 収蔵歴史資料の目録点検と入力作業

- ・市指定文化財「内沼・佐藤家文書」の目録点検と入力作業(再掲)
- ・「濁川・渡邊家文書」の清掃・目録作成作業(再掲)

② 地震等による被害調査及び活用等についての調査

- ・法淳寺(市指定文化財)の令和元年6月の地震被害の経過について電話で確認(2月)

③ その他文化財関連の調査

- ・木崎村小作争議関係資料(市指定文化財)の修復にかかる調査

(2) 公開活用

① 指定文化財資料の他館への貸出

後期はなかった。

② 市指定無形民俗文化財等の郷土芸能の公開

博物館まつり(郷土芸能発表会)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

③ 文化財等説明板の設置・修繕 ※作業中のものを含む

- ・板面修繕 3 件（開市神社、太郎代天曝観音、小熊幸一郎の功績）
- ・塗装 4 件（太郎代天曝観音、小熊幸一郎の功績、サンベ、浜サンベ）
- ・全体（板面・脚部）修繕 1 件（山本丈右衛門の墓）
- ・文化財等説明板にQRコード追加 1 8 件

QRコードを読むと、『ガイドブック 北区のお宝ものがたり』が表示され、詳しい説明等を読めるようにした。

(3) 指定天然記念物の保護育成

市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」に関する対応（道路除雪の支障となる枝の伐採にかかる相談と歴史文化課への引継ぎ）

9 特色ある区づくり事業「木崎村小作争議 100 周年事業」

（令和2～4年度の3カ年事業の初年度）

令和4（2022）年度の100周年に開催予定の企画展等に向けて、資料の所在確認調査や、展示予定の歴史資料「看板（無産農民学校西入口）」（市指定文化財）の修復のための調査を、東北芸術工科大学に委託し行った。

実施年度	令和2年度（1年目）		令和3年度（2年目）		令和4年度（3年目）	
計画内容	前期	後期	調査出張	企画展パンフレット作成 企画展チラシポスター作成	企画展、講演会の開催	記録集作成
	資料調査・整理			展示用パネル・ 展示台作成		
	結果打合せ出張		指定文化財修復委託			
	指定文化財修復調査委託（東北芸術工科大学）		修復現地確認	移送打合せ		
			修復後打合			
＜参考＞ 区づくり事業の 終了後の予定	<p>3カ年の特色ある事業の成果である修復した指定文化財を、北区郷土博物館の常設展示に利用できるし、他の博物館などにも活用してもらえる。企画展に合わせて作成するパンフレットに調査結果、当館所蔵の資料説明などを掲載することで、地域のみならず全国に情報発信できる。また、今後の研究に活用してもらうことができる。企画展終了後、その企画展のまとめ、講演会の報告、修復の報告等をまとめた記録集を作成することで整理した記録が残り、調査や研究に繋げることができる。</p>					

令和2年度入館状況

(2月28日現在)

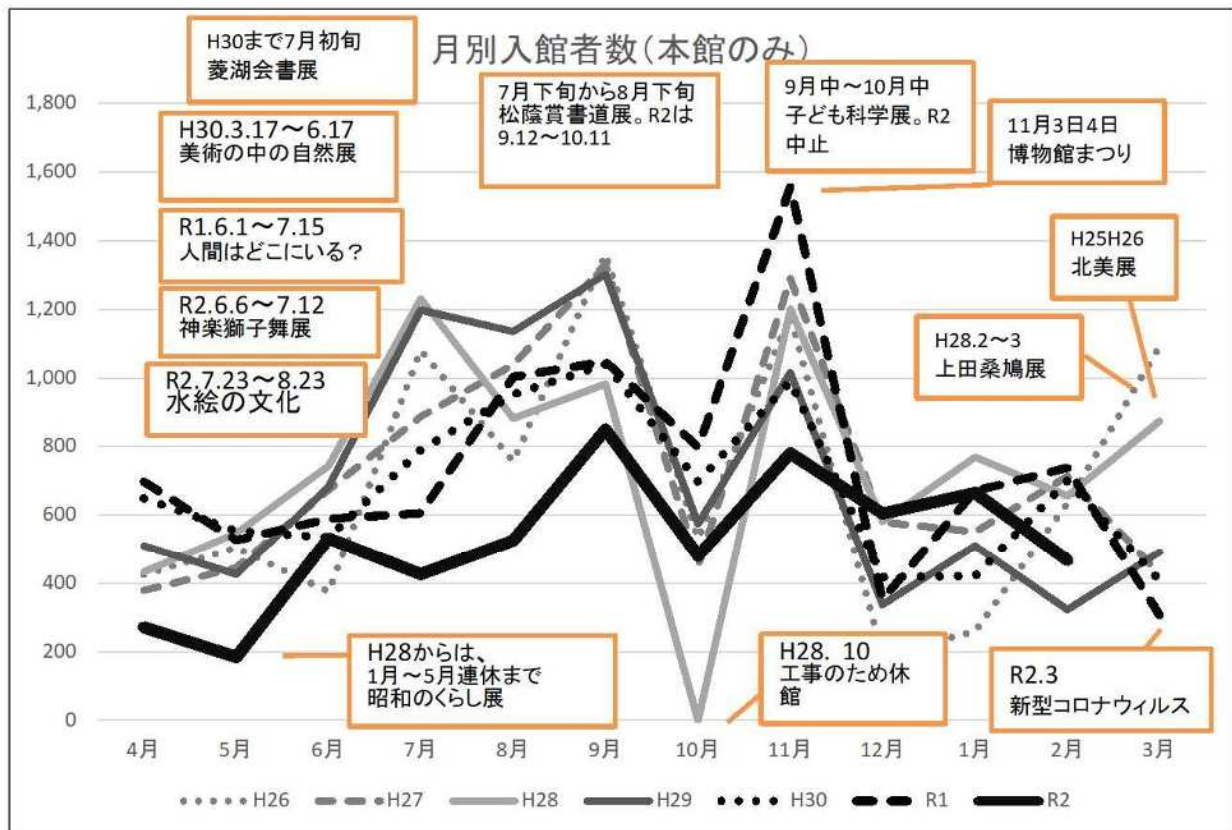
月別	北区郷土博物館 入館者数(人)	横井の丘ふるさと 資料館 入館者 数(人)	主な行事
4月	272	—	昭和のくらし展-「住まい」の道具イロイロ- 1/4～5/17
5月	185	—	昭和のくらし展-「住まい」の道具イロイロ- 1/4～5/17 (計2,049人 ※4/1～5/17は334人)
6月	532	—	—写真と映像、そして本物で見る— 北区の神楽と獅子舞のここに注目展 6/6～7/12
7月	427	—	—写真と映像、そして本物で見る— 北区の神楽と獅子舞のここに注目展 6/6～7/12 (650人) 所蔵美術作品特別展示 福島潟が育んだ水絵の文化 7/23～8/23
8月	526	—	所蔵美術作品特別展示 福島潟が育んだ水絵の文化 7/23～8/23 (609人)
9月	850	—	第23回 松蔭賞書道展 9/12～10/11
10月	481	—	第23回 松蔭賞書道展 9/12～10/11 (914人)
11月	781	—	美術にみる 型とシンボル展—図像の伝統と現代— 11/14～12/13
12月	605	—	美術にみる 型とシンボル展—図像の伝統と現代— 11/14～12/13(1,015人)
1月	665	—	昭和のくらし展5 1/5～5/16
2月	468	—	昭和のくらし展5 1/5～5/16(1,133人 ※1/5～2/28)
3月		—	昭和のくらし展5 1/5～5/16
合計	5,792	0	

- ・「入館者数」は、館内に入場した人数です。展覧会観覧者数や事業参加者数の合計とは異なります。
- ・横井の丘ふるさと資料館は現在休館中です。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため、4/21(火)～5/10(日)まで臨時休館しました。

月別入館者数調べ(本館のみ)

(人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	四半期 R2/R1
4月	464	426	379	434	510	649	698	272	54.5%
5月	610	504	446	547	427	554	527	185	
6月	587	376	674	743	683	535	589	532	
7月	1,117	1,081	888	1,231	1,198	790	606	427	67.9%
8月	850	757	1,039	882	1,135	952	1,003	526	
9月	1,220	1,360	1,331	982	1,302	1,040	1,048	850	
10月	910	532	452	0	575	698	798	481	68.9%
11月	924	1,181	1,289	1,201	1,015	990	1,557	781	
12月	428	193	580	582	337	418	354	605	
1月	370	260	551	769	510	422	671	665	66.1%
2月	647	635	714	656	323	701	738	468	
3月	925	1,094	426	875	492	408	306		
合計	9,052	8,399	8,769	8,902	8,507	8,157	8,895	5,792	



令和元年のパターン

1月4日~5月19日 昭和のくらし展(2,692人)
 6月1日~7月15日 美術展:人間はどこにいる?(840人)
 7月27日~8月18日 夏休み はくぶつかん体験コーナー(942人)
 7月27日~8月25日 松蔭賞書道展(1,133人)
 9月21日~10月14日 子ども科学展(1,319人)
 11月3日、4日 博物館まつり(1,020人)
 11月16日~12月15日 美術展:アートと道具(642人)
 1月4日~5月17日 昭和のくらし展

令和2年度(コロナ発生後)

1月4日~5月17日 昭和のくらし展(2,049人)
 6月6日~7月12日 神楽獅子舞ここに注目展(650人)
 7月23日~8月23日 美術展:湯が育んだ水絵の文化(605人)
 9月12日~10月11日 松蔭賞書道展(914人)
 11月3日 博物館まつり(0人)
 11月14日~12月13日 美術展:型とシンボル展(1,015人)
 11月 葛塚小学校 湯の干拓学習(123人)
 12月 葛塚東小学校 湯の干拓学習(125人)
 1月 葛塚小、葛塚東小、木崎小、岡方第一小
 昔の道具とくらし学習 (421人)
 1月5日~5月16日 昭和のくらし展

入館者数は、企画展等開催期間中の入館者数。小学校来館数は教師・引率含む。

新潟市北区郷土博物館 令和3年度事業計画

1 展示事業

(1) 常設展示 「阿賀北の大地と人々の暮らし」(考古・歴史・民俗・芸術(書))

(2) 企画展及び関連事業

① 常設展拡大企画 昭和の暮らし展 昔の子どもたちの日々(前年度から継続)

・会 期 1/5(火)～5/16(日)

○展示解説会

実施日 4/10(土)、4/24(土) 講師 曾部珠世

② 美術企画展「本の読みかた、愛しかた」

知の宇宙ともいうべき百科全書。「読める本」の限界に挑戦した「豆本」。なかでも実用から逸脱した愛蔵のための極小本や工芸的な私刊本。また、「本とは何か」をさまざまに表現してみせる美術作品。文字を「読む」のではなく、「見ること」を求める折帖(おりじょう)。本とは「読むもの」「読まねばならないもの」という常識を覆す本の奥深さを紹介する。

・会 期 6/5(土)～7/11(日)

・会 場 ホール

・出品作家(予定) ※太字は、当館所蔵作品・資料を出品

池田純夫、上田桑鳩、笠井千鶴、佐藤公平、長沢明、深井隆、舟見俊二

他に、高橋友太郎が企画・発刊した私刊本、弦巻松蔭旧蔵の豆本

○作品鑑賞会(予定)

実施日 6/20(日)、7/4(日) 講師 神田直子

③ 第24回 松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなんで開催する競書大会。書に親しむ機会づくりの一環として市内の児童・生徒から課題作品を公募して開催する。入賞・入選作品約230点を展示。

・主 催 新潟市北区

・会 期 7/24(土)～8/29(日)

・会 場 ホール、集会室

・応募対象 新潟市内の小学3年生～中学3年生

④ 第14回 新潟市北区こども科学展

新潟市北区の小・中学校児童・生徒が、夏休みに取り組んだ創意工夫、探究心にあふれる作品を「模型」「標本」「発明工夫」「観察・実験」の4部門で公募し、発表・展示。

・主 催 新潟市北区

・会 期 9/18(土)～10/10(日)

・会 場 ホール

⑤ 美術企画展「眼と手のあいだー“写す”の不思議」(仮称)

自然、人間、もの、或いは手本とする古人の名蹟といった対象物をみつめる作家たちの「眼」と、制作する「手」の間には、なにがあるのか。写実という態度から出発した美術作品と臨書作品を通して作者の創造の秘密を探る。

- ・会 期 11/13(土)～12/12(日)
- ・会場(予定) ホール、集会室

⑥ 常設展拡大企画 昭和の暮らし展ー日々をいろどる「食」の風景ー(仮称)

昭和の時代に使われていた昔の道具を展示し、その暮らしを紹介する「昭和の暮らし展」シリーズの第6回展。今回は、さまざまな食事のシーンを、食事をする「場所」に焦点をあてて紹介する。

- ・会 期 R4. 1/4(火)～5/8(日)
- ・会場(予定) ホール

2 教育普及事業(講演会・講座・教室・講師派遣・レファレンス等)

(現時点で確定している事業を掲載)

(1) 第30回 博物館まつり

郷土芸能発表会、書道パフォーマンス、葛塚縞手織り実演・体験、ワラ細工や消しゴムはんこ作りなどを通して、昔のくらしや伝統文化に触れる機会をつくる。新型コロナウイルス感染症の対策に留意し実施する。

- ・開催日 11/3(水・祝)
- ・会場(予定) 当館 等

(2) 講演会・講座

① 講座(テーマ未定)(他館等の事業への協力)

- ・主 催 新潟市豊栄地区公民館
- ・事業名 ご近所だんぎ
- ・期 日 5/13(木)
- ・講 師 曾部珠世(講師派遣)
- ・参加者数 未定
- ・会 場 新潟市豊栄地区公民館(予定)

② 講座「現代美術への招待(3)」(他館等の事業への協力)

- ・主 催 とよさか中高年教養大学
- ・期 日 12/11(土)
- ・講 師 神田直子(講師派遣)
- ・参加者数 30～40人(予定)
- ・会 場 新潟市豊栄地区公民館

③ 講座「美術の物語」(他館等の事業への協力)

- ・主 催 とよさか中高年教養大学
- ・期 日 R4. 2/12 (土)
- ・講 師 神田直子 (講師派遣)
- ・参加者数 30～40人 (予定)
- ・会 場 新潟市豊栄地区公民館

(3) ふるさと学習

学校や地域などと連携し、資料の紹介や展示見学の利用を図る。

①郷土の偉人に学ぶ講演「幕末・明治の北区の教育者 曾我簡堂 (仮題)」

- ・期 日 4/3 (土)
- ・講 師 曾部珠世
- ・参加者 郷土・新潟を元気にする会 30人 (予定)
- ・会 場 常設展示室、集会室

(4) レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、歴史資料や郷土史関連図書の閲覧対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力

(5) 刊行物販売

3 市民ガイド (常設展示ボランティアガイド) の活動

市民ガイド研修 (スキルアップ研修、情報共有・情報交換) の実施、来館者対応についての調整の事務等。

4 博物館実習、体験学習等の受け入れ

博物館学芸員課程履修の実習生の受け入れ

- ・実習期間 8月～9月のうち7日間 (予定)
- ・実習生 4名 (新潟大学より3名、滋賀県立大学より1名)

5 郷土資料収蔵庫・横井の丘ふるさと資料館の管理

- ・環境整備 ・虫の侵入防止
- ・空調管理（郷土資料収蔵庫のみ）

○横井の丘ふるさと資料館の管理について

- ・木崎地域の公共施設のこれからのを考えるワークショップが開催された。
- ・概ねの意見として「近くに保育園があり、倒壊の危険がある施設であれば、資料を移転後、早急に撤去すべき」となった。
- ・「木崎地域実行計画」案では、令和3年度資料移転、令和4年度解体のスケジュールが示された。
- ・令和4年3月31日付けで横井の丘ふるさと資料館の廃止する博物館条例の改正を上程することで調整を進めることになる。

6 所蔵資料（指定文化財含む）の保管・整理

- ・くん蒸処理（各分野の所蔵資料・新収蔵資料等）
- ・歴史資料の整理作業（目録化等）
- ・民俗資料の整理作業（台帳化、郷土資料収蔵庫配架等）
- ・美術作品の整理作業（台帳整理等）
- ・外部依頼の整理作業（歴史資料目録のデータ入力等）

7 北区の文化財（指定文化財ほか）の調査整理・公開活用・保護

(1) 調査整理

- ・木崎村小作争議100周年事業にかかる調査（「8 特色ある区づくり事業」を参照）

(2) 公開活用

- ・郷土芸能発表会（博物館まつり）（再掲）
- ・文化財等説明板の修繕

(3) 保護育成

- ・くん蒸処理（収蔵資料等）（再掲）
- ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」、市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」に関する対応
- ・木崎村小作争議関連資料（市指定文化財）の修復

8 特色ある区づくり事業「木崎村小作争議100周年事業」

（令和2～4年度の3カ年事業の2年度）

令和4（2022）年度の100周年に開催予定の企画展等に向けて、資料所在確認調査を継続し、展示予定の指定文化財の歴史資料「看板（無産農民学校西入口）」の修復を、外部専門機関に委託して行う。